

松浦詮 つらら 歌人、茶人。天保十一年十月十八日肥前國松浦郡平井串崎藩邸生れ、明治四十一年四月十一日歿（八四〇—一九〇八）。字景武、義卿、通稱大野、朝吉、峯朝吉郎、松浦源二郎。號乾守、今雪、心月、心月庵、柱園、樂水、稽詢齋、蓬園、蓬萊園主人、風月、鶴峯、龜岡等。安政二年肥前守敘任、五年襲封平井藩主となり、洋學、醫學、砲術を奨勵。戊辰役では奥羽征討に出陣、賞典祿二千石を下賜せられた。維新後は平井藩判事、はるみや 明宮（大正天皇）祇候、貴族院議員も歴任。伯爵。和歌、茶道を能くし、歌會始奉行を務めた。

編著に『蓬園月次歌集』（明治二十二年十月—二十八年八月自編刊、椎木岫社）、『桐盞蹄年號讀例』（原田眞書、明治二十六年四月—二十八年四月山堂書房）、歌集『心月集』（源詮名、明治四十二年四月十一日伯爵松浦家）等。また『松浦詮伯爵年譜』（昭和二年四月十一日松浦伯爵家編輯所撰刊）がある。